

たかおか 市議会 だより

発行 ■ 富山県高岡市議会 〒933-8601 高岡市広小路7-50 TEL.0766-20-1531
編集 ■ 議会広報編集委員会 平成18年(2006年)2月1日発行

創刊号 12月定例会号

12月定例会のあらまし	2P
代表質問	4P
個別質問	6P
市議会のしくみ	10P
委員会の動き	12P

	本会議	委員会
12月定例会の 傍聴者数	59人	0人

新成人の集い

写真提供:高岡市美術作家連盟 写真部



代表・個別質問に20人の議員が登壇

新市のまちづくり、子どもの安全確保対策などに

白熱した議論を展開

予算・条例など57議案を可決



新市初議会

新市発足後最初の12月定例会は、9日に開会し、22日に閉会しました。

市長から新市の設置に伴う平成17年度予算（17年11月から18年3月まで）をはじめ、まちづくり基金条例や公の施設の指定管理者制度に関する条例など57議案が提出され、全議案を可決しました。

今定例会では代表・個別質問に20人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

用するため、基金を設置するもの。

■廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正

ごみの受け入れの適正化のため近隣他市との手数料の均衡を図るもの。

■中心商店街活性化センター条例

中心商店街の賑わいの創出と地域活動の促進のため、御旅屋通りに中心商店街活性化センターを開設するもの。

■火災予防条例の一部改正

人事

■監査委員

村上 慎一氏

小竹 2005

■人権擁護委員

日尾 幸子氏

立野 2933

増山 節子氏

本丸町 4-26

住宅に防災警報器または防災報知設備の設置を義務付けたこと及び火災に関する警報の発令中の喫煙の制限により出火防止を図るもの。

議決結果一覧（12月定例会）

〔初日提出議案〕

平成17年度予算

一般会計	賛成多数で可決
国保会計	賛成多数で可決
下水道会計	賛成多数で可決
交通災害共済会計	賛成多数で可決
荻布奨学金会計	賛成多数で可決
駐車場会計	賛成多数で可決
老人医療会計	賛成多数で可決
工業団地造成会計	賛成多数で可決
農業集落排水会計	賛成多数で可決
住宅団地造成会計	賛成多数で可決
介護保険会計	賛成多数で可決
市民病院会計	賛成多数で可決
水道会計	賛成多数で可決
工業用水道会計	賛成多数で可決
簡易水道会計	賛成多数で可決

条例

市長の資産等の公開に関する条例	全会一致で可決
まちづくり基金条例	全会一致で可決
ふれあい福祉センター条例の一部改正	全会一致で可決
母子生活支援施設条例の一部改正	全会一致で可決
児童館条例の一部改正	全会一致で可決
児童センター条例の一部改正	全会一致で可決
さすな学園条例の一部改正	全会一致で可決
高齢者デイサービスセンター条例の一部改正	全会一致で可決
老人福祉センター条例の一部改正	全会一致で可決
老人保養センター条例の一部改正	全会一致で可決
急患医療センター条例の一部改正	全会一致で可決
廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正	賛成多数で可決
二上霊苑条例の一部改正	全会一致で可決
農村環境改善センター及び農村集落多目的共同利用施設条例の一部改正	全会一致で可決
農業センター条例の一部改正	全会一致で可決
福岡コミュニティセンター条例の一部改正	全会一致で可決
福岡ふるさと会館条例の一部改正	全会一致で可決
福岡農業農村活性化農業構造改善施設条例の一部改正	全会一致で可決
漁村センター条例の一部改正	全会一致で可決
中心商店街活性化センター条例	全会一致で可決

11月臨時会

12月定例会に先立ち、11月臨時会を11月30日、12月1日の両日開催し、議会の組織や合併関連議案の審議を行いました。

条例

■助役定数条例

新市の助役の定数を2人とするもの。

■職員の給与に関する条例等の一部改正

平成17年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、職員の給与を改定するとともに、これと併せて特別職の職員及び議会議員の期末手

人事

■助役

奥田 紀元氏
あわら町5-49-102
高田 哲氏
福岡町福岡新666

■収入役

室谷 泰弘氏
野村383-3

報告

■暫定予算の調製の報告

新市発足に伴い、一般会計他特別会計10件、企業会計4件の暫定予算を調製したもの。

■専決処分の報告

新市発足に伴い、市役所の

当の支給月数を変更するもの。

位置を定める条例他235件の条例を定めたもの。



26年ぶりの大雪と奮闘

新市発足後、12月定例会前

11月20日 市議会議員選挙投票日
21日 議員打合せ会
22日 新議員説明会
24日 世話人会準備会
世話人会
25日 議案説明会
29日 代表者会議
30日 議員協議会
臨時会 本会議
組織委員会
議会運営委員会
総務文教常任委員会
経済消防常任委員会
民生病院常任委員会
建設水道常任委員会
港湾対策特別委員会
新幹線・公共交通対策特別委員会
開町四〇〇年記念事業特別委員会
議会広報編集委員会
12月1日 民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
総務文教常任委員会
建設水道常任委員会
臨時会 本会議
2日 議会運営委員会
5日 正副常任委員長会議
9日 代表者会議

12月定例会の日程

9日 議員協議会
本会議（提案理由の説明）
議案説明会
13日 本会議（代表質問）
15日 議会運営委員会
本会議（個別質問）
16日 本会議（個別質問）
19日 民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
20日 代表者会議
議会運営委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
22日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案など議決）

議会日誌

職業訓練センター条例の一部改正 全会一致で可決
勤労者余暇活用センター条例の一部改正 全会一致で可決

福岡観光物産館条例の一部改正 全会一致で可決
とやま・ふくおか家族旅行村条例の一部改正 全会一致で可決

市営駐車場条例の一部改正 全会一致で可決
都市公園条例の一部改正 全会一致で可決

青年の家条例の一部改正 全会一致で可決
集会所条例の一部改正 全会一致で可決

生涯学習センター条例の一部改正 全会一致で可決
市民会館条例の一部改正 全会一致で可決

児童文化センター条例の一部改正 全会一致で可決
博物館条例の一部改正 全会一致で可決

万葉歴史館条例の一部改正 全会一致で可決
美術館条例の一部改正 全会一致で可決

体育施設条例の一部改正 全会一致で可決
武田家住宅条例の一部改正 全会一致で可決

伏木北前船資料館条例の一部改正 全会一致で可決
伏木氣象資料館条例の一部改正 全会一致で可決

火災予防条例の一部改正 全会一致で可決
火災予防条例の一部改正 全会一致で可決

〔最終日提出議案〕

監査委員の選任 全会一致で同意
人権擁護委員の推薦（2件） 全会一致で同意

国民の食糧と健康、地域農業を守ることを求める意見書の提出について（国民の食糧と健康を守る運動富山県連絡会 代表 小林 定雄） 賛成少数で不採択

大規模遊技場建設に反対する陳情書（波岡をよくする会 会長 吉田 登ほか1名） 継続審査

〔11月臨時会の主な議案〕

助役定数条例 賛成多数で可決

職員の給与に関する条例等の一部改正 全会一致で可決

暫定予算の調製 賛成多数で承認
専決処分（条例236件） 全会一致で承認

代表質問

今定例会では、3会派の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨は、次のとおりです。

山沼茂敏

・自民クラブ

新市の将来像

問 東海北陸自動車道の全線開通や北陸新幹線の開業など、新市が黄金の10年に向かって船出した今、まちづくりビジョンなど市政運営に対する考えは。

市長 先人により培われてきた歴史的・文化的な都市基盤のうえに、将来をしっかりと見据え、新たな時代を創造する都市としての確固たる礎を築いていかなければならない。初心を忘れず、今後とも市民の声にしっかりと耳を傾け、共に苦勞し、共に喜ぶ姿勢で、誰もが住みたいまち・行きたいまちづくりを進め、新市の活力と魅力にあふれた都市となるよう精一杯努力したい。

一体化に向けて

問 市政運営の最重要課題について問う。

(1) 合併した二つのまちの一体化を一日も早く成就する必要がある。重点事業として取り組むべきものは。

(2) 北陸新幹線新高岡駅の南北に配置される広場、交通ターミナルは、全線開通後も需要に十分応えられるものでなければならぬと考えるが、整備にあたっての基本的な考えは。

市長 (1) 新市建設計画の中に掲げる重点事業を着実に実施するとともに、タウンミーティングでの意見を踏まえ、新市の均衡ある発展を目指したい。具体的には、平成18年度予算編成の中で検討したい。**都市整備部長** (2) 駅前広場等については、県内だけではなく飛騨地域や能登地域からの広域的利用者を想定するとともに、全線開業時の利用予測を基に規模等を定めている。今後の鉄道建設・運輸施設整備支援機構や地元等との協議

編成方針

などでも、南北駅前広場の形状や広場を結ぶ道路等について十分調整を図り、交通ターミナルとして、利便性の高い施設にしたいと考えており、県西部地域の玄関口にふさわしいものとなるよう全力で整備に取り組むたい。

問 平成18年度予算は、合併後、初めての本格的な編成となる。新市建設計画や合併協



生の声が聞けるタウンミーティング

に財政の健全化を図っていくことも重要になるなど、大変に難しい予算編成になると推測するが、編成方針は。

市長 財政環境は引き続き大変厳しい状況にあり、18年度の予算要求は、義務的経費や新市建設計画に掲げる施策等で重要かつ緊急やむを得ない事業を除き、引き続きマイナスイシューリングとした。一方、合併後初めての本格的な予算編成となることから、新市の一体感の醸成と均衡の取れた発展を最重要課題とし、骨格となる社会資本整備の促進、少子高齢化への対応、交流・観光のまちづくりを柱とし編成に取り組む。また、タウンミーティング等での要望・提言についても、一つでも多く形になるよう、予算に反映させ、より厳正な施策の選択と限られた財源の重点的かつ効果的な配分により、財政の健全化を図りたい。

松崎義彦

・社民クラブ

計画の推進

問 平成18年度予算と新市建

設計画について問う。
(1) 新市の市債残高も含めた財政状況に対する認識は。
(2) 新市の一体感の醸成に向けて、17年度に実施する施策は。
(3) 18年度予算編成の基本的な考え方と重点事業は。
(4) 新市建設計画を具体化していくための手順や目標年次等は。

市長 (1) 旧高岡市、旧福岡町において発行済の一般会計債の残高を合わせると、新市の市債残高は約830億円となっており、依然として高い水準にある。このような財政状況を踏まえ、市税等自主財源の積極的な確保に努めるとともに、市債残高の適正化にも十分留意していくことにより、可能な限り財政の弾力性を確保していくことが必要であると認識している。
(2) 17年12月23日に合併記念式典を開催する。広報「市民と市政」では、合併後の市域や互いの施設、記事の紹介など、紙面に一体感が出るような工夫や新市の観光パンフレットを作成し、融和に向けて一歩ずつ前進させている。また、福岡地域で開催したタウンミーティングや今後組織される地域審議会の意見等を尊重しながら、新年度予算に皆様の声を反映させ、新市一体とな



新市の誕生を祝って（合併記念式典）

つたまちづくりを進めたい。
 (3) 合併後、初めての本格的な予算編成となることから、新市の一体感の醸成と均衡の取れた発展を最重要課題とし、骨格となる社会資本整備の促進、少子高齢化への対応、交流・観光のまちづくり、これらを柱としながら取り組む。また、開かれた効率的な行政を推進するため、市民と協働の事業展開を図るとともに、タウンミーティング等での要望、提言については、緊急度、優先度等を勘案のうえ、できるものから予算に反映させた

い。
経営企画部長 (4) 新市建設計画を踏まえ、新市の総合計画

チエツク体制

問 耐震強度偽造問題について問う。

(1) 大きな社会問題となった現実をどのように受け止めているのか。

(2) 建築確認制度の改善策が検討される動きにあるが、行政現場としての所見は。

市長 (1) 構造計算書を偽造した建築士の違法な行為により、住宅の購入者に多大な被害を生じたことは、甚だ遺憾である。今後、国においては、建築確認検査業務のあり方や、民間業務機関の監督方法などの総点検を実施されると聞いており、より良い体制に向けて検討されるものと考えている。

都市整備部長 (2) 国では、耐震構造偽装問題緊急委員会（仮称）を設置し、建築確認検査事務の総点検に着手すると報道されている。本市としても、さまざまな改善策や審査チェック体制の見直し等について、今後の検討結果を受けて対応したい。

荒木泰行

新市民クラブ

不安の解消

問 旧福岡市民の不安を極力なくし、新市の市民としての充実感と一体感を作り上げるには、福岡地域のタウンミーティングで出された問題の解決が重要と思われるが、それぞれについての見解は。

(1) 旧の福岡境、高岡境といわれる地域をつなぐ県道小矢部伏木港線の整備や、石堤・赤丸、荒又・大野地区などの市道の整備。

(2) 旧福岡町から旧高岡市へ流れる河川・用排水路の整備による石堤・赤丸地区全体の安全、安心の確保。

(3) 福岡消防庁舎の建設。

市長 (1) 旧市町間を連絡する幹線道路、旧市町境で整備水準の違いやクランク状となっている道路については、新市の一体感の醸成という観点から早期に整備することが望ましいと考えている。

建設部長 (2) 谷内川の改修整備事業の促進が図られるように、県に強く要望したい。ま

た、谷内川に流入する準用河川については、県等関係機関とも相談しながら検討したい。

産業振興部長 (2) 五位庄用水、下八ヶ佐加野用水は、県営かんがい排水事業で整備を行っており、地域の安全、安心の確保に努めている。

消防長 (3) 建設後、38年が経過していることや耐震構造でないことから、旧福岡町でも改築が検討されていた。合併特例債を活用し、本市西部の消防・防災拠点施設としてふさわしい消防庁舎の建設に向けて努力したい。

支援の充実

問 子育て支援について問う。
 (1) 今後、育児休業の取得促進をどのように進めるのか。

(2) 子育て支援センターの年間延べ利用件数が開設当時の2千件から平成16年には2万5千件に増え、評価しているが、施設の数はまだ少ないと思う。見解は。

市長 (1) 国と連携してセミナー等を開催し、職場における男女雇用機会均等と仕事と家庭の両立について社会全般の認識・理解を深めることや仕事と育児・介護とが両立できるようにさまざまな取り組みに



子育て支援ですくすくと

努力している。今後も、育児休業を取得しやすい環境が整うよう企業や市民の休業制度への意識の醸成に努めたい。

福祉保健部長 (2) 17年7月に、ふれあい福祉センター内の子育て支援室が手狭になり隣接したウエルフェアテクノハウ

スに移転したほか、福岡子育て支援センターを開設し、子育て家庭への相談・指導はもとより、各種育児教室を開催している。この他、子育て支援センターの指導員が児童館や児童センターを巡回しており、市内42か所の保育所では、子育てサロン室を設け、保育士による育児相談や親子に遊び場を提供するなど、地域の子育て支援センターの役割も果たしている。

個別質問

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。

金平直巳

日本共産党

引下げを

問 水道料引き下げの具体的取り組みの強化を。

市長 受益者への還元の仕事としては、効率的で継続的な建設投資の実施や平成20年度までにおける水道料金の見直しも選択肢と考えている。今後、整備計画や財政見直しを見極め検討したい。

大幅な見直し

問 財政の健全化を考慮し、高岡駅周辺整備事業費の大幅見直しを行うべきでは。

市長 事業の実施にあたっては、必要な各施設の規模等について十分検討を加えるとともに、財政に負担を与えないよう考慮し、全体の事業コストの縮減に努めたい。

無料化の拡大

問 子育て支援のために、小

学校3年生までの入院医療費を無料にしては。

市長 就学前児童までの医療費をすべて無料化するなど、事業の拡大に努めてきた。本市の厳しい財政事情を考慮すると無料化の拡大は、現段階では困難であると考えてる。

大井 弘

自民クラブ

新たな企業誘致

問 企業誘致への取り組みについて問う。

(1) 東海北陸自動車道の全線開通を機に、中京地区をターゲットにした企業誘致をすべきである。その際には、住みよいまち高岡というセールスポイントを生かすべきと考えるが、見解は。

(2) 企業誘致を円滑に進めるために、まず中京地区の都市との交流を図るべきと考えるが、見解は。

市長 (1) 平成19年度とも言われる東海北陸自動車道の全線開通は、中京地区の企業を誘

致する絶好の機会であると認識している。今後、県等と連携を取り、「すみよいまち高岡」の魅力や「ものづくりのまち高岡」の高い技術力などをアピールし、新たな企業誘致に積極的に取り組みたい。

経営企画部長 (2) 今後の都市間交流の取り組みにあたっては、全線開通が見込まれる東海北陸自動車道の沿線にある中京地区や万葉故地などが有力な候補地と考えられる。

梅田 信一

自民クラブ

人事評価

問 人事評価制度について問う。

(1) 早期導入を図る必要があると思うが見解は。
(2) 導入にあたって障壁があるとするば、どのような点か。
(3) 現時点での調査研究状況は。

市長 (1) これからの自治体には、個々の職員の能力、実績や貢献度に応じた評価制度の

導入が求められており、より公正公平で透明性の高い制度の構築に向け検討していきたい。

総務部長

(2) 評価基準の設定や目標管理の手法等制度構築上の課題があるほか、制度の理解や職員の意識改革が重要となることから、研修等の実施、人材育成の視点に立った人事システムの構築等が必要となる。

(3) 現在、先行的な取り組みを行っている他自治体の事例等の情報収集を進めており、これらの事例の問題点や課題等を整理し、本市に適合した制度の構築に努めたい。

樋詰 和子

公明党

新市の行革

問 新市の行財政改革推進のスケジュールは。

経営企画部長 高岡市行財政改革推進検討本部を立ち上げるとともに、なるべく早い時期に、行財政改革市民懇話会を設置し、国が策定した「新地方行革方針」などを踏まえ、「集中改革プラン」を盛り込んだ新しい行財政改革の方針を夏ごろまでに策定したい。

負担の軽減

問 子育て世代の経済的負担を軽減するため、小学校3年生までの通院・入院医療費無料化の実施を。

市長 無料化を拡大した場合、市の負担は通院・入院合わせて約1億4千2百万円増加する。厳しい財政状況を考慮すると、現段階では困難であると考えてる。

子どもの安全

問 子どもたちの安全確保のために、通学路の安全点検を実施し、通学路安全マップを充実させては。

教育長 小学校では21校が作



安全マップで子どもを守ろう

成し、残りの6校についても平成17年度中に作成する予定であり、今後とも、一層の安全対策を推進していきたい。

川島 国

・自民クラブ

今後の取り組み

問 新市建設計画に盛り込んである重点要望について問う。

(1) 福岡駅前土地区画整理事業の本市のまちづくりにおける位置付けは。また、今後の取り組みと見通しは。

(2) 能越自動車道福岡パーキング簡易インター化についての見解は。また、北陸新幹線建設工事より前に計画を具現化する必要があるのでは。

高田助役 (1) 福岡地域にふさわしい玄関口として、交流と賑わいを創出する基盤づくりが図られると考える。今後は、地権者全体説明会等、事業への理解を深める機会を設け、平成18年度内の事業認可を目指すしたい。

(2) 利便性の向上が図られるものと考えており、今後、国・県等の関係機関と十分相談のうえ、調査・研究したい。また、北陸新幹線との関係については、鉄道建設・運輸施設

支援機構に相談していきたい。

島村 進

・社民クラブ

どう応える

問 合併して良かったと実感できるまちづくりについて問う。

(1) 福岡地域で実施したタウンミーティングの感想と明らかになった課題は。

(2) 旧福岡町の住民に根強くある「吸収合併であり、福岡町が取り残されるのでは」との心配にどう応えるのか。

市長 (1) 全6地区で約600名の参加があり、合併による不安感の解消や一体化の推進、道路整備などの意見や要望が出された。直接地域の方々の声を聞けたことは、誠に有意義であった。今後、これらの意見、要望等を踏まえ課題を整理し、施策や当初予算にできるだけ反映していきたい。

(2) 住民の声をよく聞き、これに誠心誠意適切に対処することが肝要であると考えている。タウンミーティングや福岡地域審議会の意見等を踏まえ、旧福岡町民の不安の解消や、一日も早い一体化に努めたい。

狩野 安郎

・無所属

スポーツの振興

問 スポーツの振興について問う。

(1) ジュニア選手の育成強化と指導者養成事業の現状と今後の取り組みは。

(2) 富山県において全国スポーツレクリエーション祭が開催されると聞いているが、現状での準備体制は。

教育長 (1) ジュニア選手の強化練習会や合宿の開催、県外遠征など継続的な育成強化を展開するとともに、医学シ



登・下校を見守るパトロール隊

ンポジウムの開催や実践発表を取り入れた指導者研修会等を実施している。今後とも、ジュニア選手強化推進委員会と連携を図り、小中学生の一貫指導体制を確立するとともに、質の高い指導者の養成に努めたい。

(2) 県では、平成22年秋の開催を表明している。本市を全国にアピールする絶好の機会と捉えており、今後、競技団体等の意向や施設状況を勘案しながら、本市での開催種目誘致を県に働きかけていきたい。

水口 清志

・自民クラブ

さらなる支援

問 子どもが犠牲となる事件が立て続けにおきている。子どもの安全確保を地域あげての取り組みとするため、行政ではどのような支援ができるのか。

教育長 学校安全パトロール隊の結成を推進し、財政支援を行うなど、さまざまな対策を講じてきており、平成17年度末までに、27小学校区すべてに設置される見通しとなった。これらの学校安全パトロール隊をはじめとした地域ぐ

るみの活動が、充実されるよう市、学校、家庭、警察等との連携を強化し、さらなる支援を行っていきたい。

整備促進

問 住民が期待している石川県とのアクセス道路整備の考え方は。

高田助役 合併により、新市が石川県と接することになり、今後、石川県内地域との交流促進が期待される。主要地方道押水福岡線の改良整備を富山・石川両県に要望していきたい。

曾田 康司

・自民クラブ

開町四〇〇年

問 今年度中に「高岡開町四〇〇年記念事業検討懇談会」の検討結果がとりまとまるとのことだが、今後の取り組みと、市内外へのPR策は。

市長 検討結果を市民に周知し、その後、より具体的なイメージ、事業を募り、事業推進のための体制づくりを進めていく。記念事業のいろんな場面で幅広い市民が参加・参画できるよう工夫していきたい。

い。PR策としては、シンボルマークやキャラクターの制定、高岡ブランドの開発などが提案されており、今後、市民の幅広い意見を聞きながら検討していきたい。

増やす取り組み

岡 人口減少が続いているが、市内の定住人口やまちなかの昼夜人口を増やす施策を。

市長 人口定住策として、新婚家庭住宅資金に対する利子補給、優良住宅団地支援事業などを実施している。また、TMOでは市街地の人口増につながるさまざまな賑わいづくりに取り組んでいる。今後、さらにまちなか居住を推進する方策を研究したい。

酒井立志

・自民クラブ

中核市に向けて

岡 県西部の拠点都市高岡のさらなる発展と、中核市実現に向けての機運を高めるための取り組みについて問う。

(1)旧福岡町の公営バス路線の拡大と、射水市とのコミュニティバスの共同事業の導入を。
(2)(仮称)牧野大橋を含む姫野



住民の足、公営バス

能町線改良工事の取り組み状況と、今後の整備予定及び完工予定年次は。

市長 (1)路線の拡大については、新市一体化を念頭に、スクールバスの機能を最優先に、住民ニーズを把握し他公共交通とのネットワーク化も視野に検討すべきと考える。射水市との共同事業については、今後の射水市の公共交通体系整備の方向性を見ながら対処したい。

建設部長 (2)現在、庄川架橋工事を行っており、今後、引き続き橋脚の整備を進め、左岸の取り付け道路の整備を進める予定と聞いている。完工予定年次は明らかではないが、

一日も早く完成するよう県に働きかけたい。

金森一郎

・自民クラブ

方向転換

岡 都市整備事業について問う。

(1)郊外型のまちづくりから方向転換し、国などが提唱するコンパクトなまちづくりを進めてはどうか。

(2)まちなかへの居住促進対策として、どのような住宅政策に取り組んでいるのか。

市長 (1)公共交通がまちづくりを支える基盤であると捉え、歩いて暮らせるまちづくりやバリアフリー化を推進し、安全で住みやすいまちづくりに取り組んでいる。こうした各種施策を引き続き推進することにより、環境にも配慮したまちづくりが実現されていくと考える。

建設部長 (2)まちなかでの特定公共賃貸住宅の建設や高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業等、国の助成制度を活用した民間事業者に対する支援を行っている。また、市独自の施策としては、空き家の有効活用を図るまちなか居住モ

ニター制度等に取り組んでいる。

上田 武

・社民クラブ

子どもを守れ

岡 地域住民の協力を得て、犯罪や事件から子どもたちを守るための安全対策は。

奥田助役 25小学校区で45の学校安全パトロール隊が設置され、校区の巡回をしてもらっている。また、地域住民への登下校時の見守りをお願い、通学路安全マップや「こども110番の家」の見直しをしている。今後とも、市、学校、家庭、警察、地域住民との連携を強め、子ども達の安全確保に努めたい。

高齢者雇用

岡 高齢者雇用安定法の改正に、行政はどのように対処するのか。

市長 法改正により事業主は定年年齢の引き上げや継続雇用制度の導入が義務付けられた。これに対応するため、高岡商工会議所を中心として「65歳継続雇用達成会議」が開催され、円滑な制度導入策

の研究や企業への支援、制度普及に取り組んでいる。今後とも、国・県並びに関係機関と連携しながら普及・啓発に努めたい。

野上達夫

・社民クラブ

企業誘致を

岡 産業の活性化、雇用拡大を図るため、高岡オフィスパークへの企業・事務所誘致に積極的に取り組んでは。

市長 入居を促進するため、企業の新増設や新規従業員の雇用に対する助成制度を新設・拡充するなど、企業立地支援策の充実に努めている。今後とも、私みずからも先頭に立って、積極的に誘致に取り組みたい。

適正利用

岡 地下水は、生活用を優先すべきと考えるが、用途別利用の状況は。また、工場や事業所に対し、一定の使用基準を設けてはどうか。

生活環境部長 工業用が最も多く全体の約半数を占め、次いで道路等の消雪用、建築物用となっている。本市は、良

質で豊富な地下水に恵まれており、事業用、生活用にかかわらず、適正利用に努めることにより、地下水の保全が図られるものと考ええる。また、県では、富山県地下水の採取に関する条例を制定し、適正利用の推進を図っている。

南部周三

●日本共産党

融和を

問 総合斎場の早期建設のため、地元住民間の融和に向けたさらなる努力を。

市長 市が仲介して話し合いの場を設けることを提案し、推進・慎重双方の代表者から共同で「西部金屋地区生活環境整備事業にかかる要望書」が提出された。要望された地区住民の生活環境の向上につながることはできるだけ速やかに実施したいと考えており、このような地区住民の融和に向けた取り組みに引き続き精一杯努めたい。

不安の解消

問 西田地区養鶏場建設計画について、住民不安解消のため、行政として地元の同意な

き建設は認めないよう仲介の努力を。

市長 氷見市とも連携し、事業者に対し、住民の不安や疑念を払拭するよう対応を求めてきた。住民の不安解消は事業者の責任で行うべきものと認識しており、今後とも説明責任を果たすよう強く要請していきたい。

石須大雄

●社民クラブ

観光の推進

問 伏木地区の誘客環境の整備について問う。

(1) 勝興寺の全面改修終了までに、観光施設のネットワーク化や環境整備を行うべきと考えるが、見解は。

(2) 地区の各種団体が参画する伏木観光推進センターとの協働を積極的に進めるべきでは。

(3) 伏木港を船の玄関口と位置づけ、豪華客船「飛鳥」など国内外の客船の誘致を。

市長 (1) 勝興寺・万葉歴史館・北前船資料館をセットにした共通入場券の発行やスタンプラリーの実施、観光駐車場の整備等を行っている。今後は、観光案内板や施設誘導のサイン、道路環境の整備等

の検討をしていきたい。

(2) 市民協働型の取り組みとなることから、地区の観光推進に大いに力を発揮してもらえよう、ソフト事業の展開や環境整備などを通じて支援していきたい。

建設部長 (3) 今年度末にも多目的国際ターミナルが完成予定であり、「飛鳥Ⅱ」が寄港する予定である。今後多くの客船誘致に努めたい。

盤若進二

●自民クラブ

もてなしの心

問 平成18年度予算で橋カラ



豪華客船で観光誘致

ーをより具体的な形にするため、観光を産業とする意識で「見どころをつなぐ仕掛け」や「もてなしの心の醸成」が必要と考えるが、具体策は。

市長 公共交通を活かした新たな観光ルート開発や広域的な観光資源を結ぶルートづくりが必要である。また、「もてなしの心」が広がるよう市民を対象とした観光研修会や市内観光施設巡りなどの企画を実施したい。

御車山会館

問 このたび設置する山町筋整備計画検討懇談会では御車山会館の設置について検討するのか。また、設置の方向性についてどう考えているのか。

市長 懇談会では御車山会館に関しての審議は想定していない。今後、御車山会館問題だけではなく、山町での施設整備や御車山祭の維持発展について、御車山保存会、商工会議所、市などで十分協議・検討を重ねていく必要があると考えており、なるべく早く協議の場をもちたいと考える。

四十九 清治

●新市民クラブ

新たな整備

問 企業団地の整備について問う。

(1) 経済環境が踊り場から脱した今、早急に新たな企業団地の整備を図るべきでは。

(2) 既存の企業団地の環境整備や企業要望への取組状況は。

市長 (1) 東海北陸自動車道の全線開通や北陸新幹線の開業など、21世紀の高岡の骨格となる社会資本整備が進み、企業立地条件が整ってくることから、検討する時期がきていると考える。

産業振興部長 (2) 入居企業への支援は必要だと認識している。企業や関係機関との調整を図り環境整備に努めてきたところであり、今後も、企業要望等には適切に対応したい。

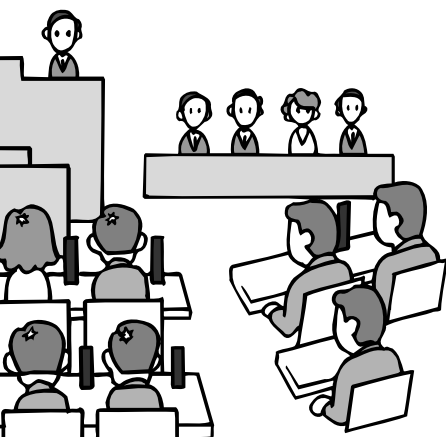
運営状況は

問 富山型デイサービス事業所の運営状況は。

福祉保健部長 介護保険の通所介護事業所としての指定を受けている事業所の収入としては、介護保険利用者の介護報酬のほか、障害者の支援費や障害児デイケア事業受託費などにより運営されている。

市議会のしくみ

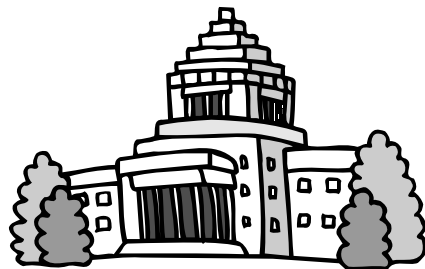
請願とともに委員会に付託します。
質問を行います。



で討論のあと、採決を行います。

意見書

市だけで解決できない問題は
国や県へ意見書を出します。



議決したものは
市長に送られます。



市長部局

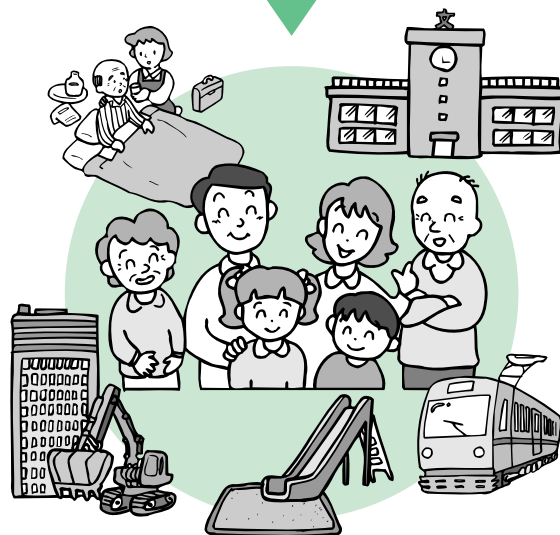


決まったことは
「市議会だより」で
市民にお知らせします。



● 議場で行う質問 ●

- 代表質問** 所属議員4人以上の会派の代表が行います。
(3月・9月・一般選挙及び市長選挙後の最初の定例会)
- 個別質問** 事前に通告(申し出)した議員が行います。
(各定例会)
- 総括質問** 事前に通告した議員が、一人あたり25分の持ち時間で、
一問一答方式により行います。
(3月・12月)



本会議

議会中に全議員が議場に集まって開く会議を
本会議といい、そこで提案された議案に対する採
決(賛否の決定)を行います。

本会議では、提案理由説明、質疑のあと討論、
採決を行います。が、詳細な審査が必要なものは、
いったん委員会に付託され、その審査を経たあと
本会議で採決されます。

また、市政一般に対する質問(議員が市政全
般にわたって市長に質問したり、意見を述べたり
するもの)を行います。

委員会

市の事務は、広範かつ複雑化しているので、それらを専門的・
効率的に審査するため、委員会が設置されています。

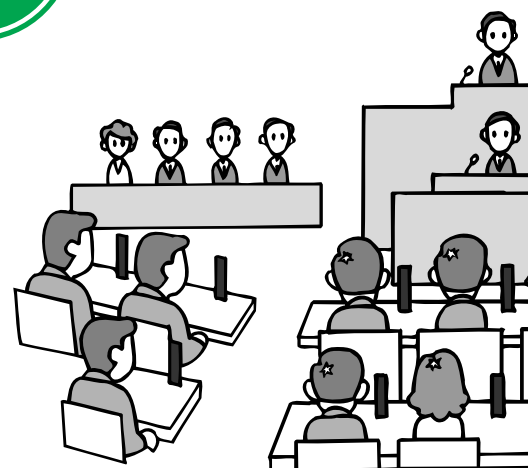
委員会には、常任委員会と特別委員会があり、また、議会の
運営等について審査する議会運営委員会があります。

常任委員会は、「総務文教」「民生病院」「経済消防」「建
設水道」の4つの委員会があり、本会議から付託された議案、
請願(陳情)の審査や市の事務の調査を行っています。

特別委員会は、必要ときに特別に設置されるもので、本市
議会では、「港湾対策」「新幹線・公共交通対策」「開町四
〇〇年記念事業」の3つの委員会があり、それぞれ特定の問
題についての調査や審査を行います。

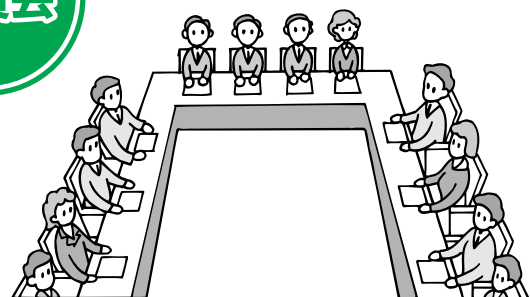
本会議

議案は、提案理由説明・質疑のあと、また、本会議では、市政一般に対する



委員会審査の終わったものは、本会議

委員会



議案や請願・陳情について専門的な立場から、くわしく審査を行います。

請願（陳情）

みなさんの要望

質問・議案・請願紹介

議員

議案

市長

議会の役割

高岡市議会は、選挙で選ばれた市民の代表者である31名の議員で構成されています。

議会は、市の予算（市長が立案した年間の収入・支出計画）や条例（国の法律に相当する市のきまり）などの議案を審議し、決定します。

また、市の事務が適切に行われているか調査し、チェックを行い、市長に対し意見を述べ、助言を行ったりもします。

市長は、議会で決定されたことをもとに、市民福祉の向上のため、責任を持って市の施策・事業を実施します。

議会と市長とは、お互いの立場を尊重し合いながら、市政をよりよい方向へ進めるようつとめています。

定例会・臨時会

市議会には、定例会と臨時会があります。

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月の年4回開催され、臨時会は、緊急に議会の議決を要する事項が生じた場合に開催されます。

※議会の日程は、ホームページのほか、福岡総合行政センター、3支所、市立公民館、老人福祉センター等の公共施設に掲示して、お知らせしています。

■市議会ホームページ

<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gikai/index.shtml>

委員会の動き

常任委員会

4 常任委員会では、委員が次の観点に立つて、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

高岡市まちづくり基金は、現在の低金利状況下では、運用益が期待できない。市民の一体感の醸成等の面からも平成18年度ですべて使い切る方法もあるのではないかと。また、旧高岡市・旧福岡町に1億円ずつ交付されるということを考慮のうえ、活用してもらいたい。

○民生病院常任委員会

介護保険料の額は所得段階により6段階に分けているが、低所得者層の負担軽減を図るため、所得段階を細分化すべきでは。

一般廃棄物処理手数料と産業廃棄物処理手数料が近隣市より安価であることなどから、値上げすることになっているが、増収見込額は。また、増収分

を市民へどのような形で還元するのか。

平成18年度から診療報酬が引き下げられるが、患者の負担軽減につながる反面、収入が減る医療機関側のコスト抑制が行き過ぎると医療の質の低下を招くとの指摘もある。市民病院としては、今回の決定をどのように受け止めているのか。

○経済消防常任委員会

平成15年度に、ITによるまちづくりで中心商店街を活性化するため、「たかおかスト



新市のスタート、開市式

火災予防条例の一部改正により、平成20年6月1日から既存住宅についても住宅用防災機器の設置が義務付けられるが、ひとり暮らし高齢者世帯に対して、計画的に機器を設置しては。

○建設水道常任委員会

地域ぐるみ除排雪活動として貸与された小型除雪機械の運転中に事故が起きた場合、保険は適用されるのか。また、運転資格、講習の実施状況は。福岡地域を含めた洪水ハザードマップの作成時期は。水道の受水協定の見直しは。責任水量制が従量制かとの議論もあるが、県東部との水道料金の地域格差は正に向け、一般会計からの政策的な繰入れによる料金の引下げに取り組むべきでは。

議会に来てみませんか 市議会の傍聴

市議会の本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は82名(うち車椅子利用者5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。開催日当日、先着順に受け付けます。

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催する予定です。

なお、日時等は、2月21日(火)開催予定の議会運営委員会で決定します。

- | | | |
|--------|-----|------------------------|
| 1日(火) | 13時 | 本会議
(市長の提案理由説明) |
| 3日(木) | 13時 | 本会議 |
| 6日(日) | 10時 | 本会議(代表質問) |
| 8日(火) | 9時 | 議会運営委員会 |
| | 10時 | 本会議(個別質問) |
| 9日(水) | 10時 | 本会議(個別質問) |
| | 終了後 | 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会 |
| 13日(日) | 10時 | 総括質問 |
| 14日(月) | 10時 | 民生病院・経済消防常任
委員会 |
| 16日(水) | 9時 | 議会運営委員会 |
| | 10時 | 建設水道・総務文教常任
委員会 |
| 20日(日) | 10時 | 議会運営委員会 |
| | 13時 | 本会議(議案、意見書など
議決) |

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

編集後記

前田利長公の城下町として生まれ、銅器や漆器、アルミ工業の発展などで栄えた高岡と、菅笠づくりや養鯉業が盛んな福岡が合併し、新高岡市がスタートしました。

議会だよりはこれまで、住民と議会を結ぶ「かけ橋」としての役割を担ってきた。今、今回の創刊号からは、より身近に感じていただけるよう見やすい誌面づくりや質問議員の氏名掲載など一味違ったスタイルでお届けしましたが、いかがでしょうか。

今後とも議員一同、本市の抱える諸課題に積極的に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

編集委員

(盤若 記)

(委員長・副委員長)
盤若、○上田、狩野、野上、尾崎、曾田、川島、南部、樋詰、大井、向

インターネットで過去の市議会会議録の閲覧・検索ができます。

表紙下段の市議会ホームページにアクセスください。